

第 2 8 7 回 役 員 会 議 事 録 (要 録)
 平成 3 0 . 6 . 5 (火) 1 5 : 4 9 ~ 1 6 : 0 0
 場 所 : 法 人 本 部 棟 5 F 2 会 議 室

出席者	越智, 宮谷, 相田, 佐藤, 山本, 高田, 木内, 山田 <div style="text-align: right;">以上役員 8名</div>
-----	---

欠席者	
-----	--

オブザーバー	野上, 栗栖, 渡邊, 古澤, 丸山, 神谷, 寺本, 相原, 藤原, 竹内, 太呉, 佐々本
--------	---

(前回議事録(要録)の確認)

(議事)

1. 平成30年度卓越大学院プログラムについて ----- 別紙1
 (学長提案・宮谷理事(教育・東千田担当)説明)

平成30年度卓越大学院プログラムに関して、本学から3件申請することについて提案・説明があり、審議の結果、3件の申請について承認し、以下のとおり確認した。

①放射線災害復興イノベーションプログラム

当該プログラムが採択された際には、広島大学の大学院総合科学研究科総合科学専攻、大学院文学研究科人文学専攻、大学院社会科学研究科マネジメント専攻、大学院理学研究科物理科学専攻、大学院理学研究科化学専攻、大学院先端物質科学研究科量子物質科学専攻、大学院医歯薬保健学研究科保健学専攻、大学院医歯薬保健学研究科医歯薬学専攻、大学院工学研究科機械物理工学専攻、大学院工学研究科システムサイバネティクス専攻、大学院工学研究科社会基盤環境工学専攻及び大学院国際協力研究科開発科学専攻の参画の下、福島県立医科大学、福島大学・共生システム理工学類、福島大学・経済経営学類、福島大学・うつくしまふくしま未来支援センター、長崎大学・原爆後障害医療研究所、政策研究大学院大学、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、公益財団法人放射線影響研究所・広島研究所・疫学部、国際原子力機関、原子力防護評価センター、カンボジア開発資源研究所、カリフォルニア大学バークレー校及びコロンビア大学と連携して、調書に記載の事項について確実に実施する。

②脳・こころ・感性科学人材育成プログラム

当該プログラムが採択された際には、広島大学の大学院総合科学研究科総合科学専攻、大学院教育学研究科心理学専攻、大学院教育学研究科教育学習科学専攻、大学院社会科学研究科マネジメント専攻、大学院医歯薬保健学研究科医歯薬学専攻及び大学院工学研究科システムサイバネティクス専攻の参画の下、産業技術総合研究所(人工知能研究センター、人間情報研究部門、ロボットイノベーション研究センター、自動車ヒューマンファクター研究センター)、生理学研究所システム脳科学研究領域、放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部、理化学研究所脳神経科学研究センター、広島市立大学大学院情報科学研究科知能工学専攻、京都大学大学院医学研究科医学専攻、マツダ株式会社、TOTO株式会社、コベルコ建機株式会社、株式会社日立製作所、大塚製薬株式会社、ウイーン医科大学及びハーバード大学と連携して、調書に記載の事項について確実に実施する。

③ゲノム編集先端人材育成プログラム

当該プログラムが採択された際には、広島大学の大学院理学研究科生物科学専攻、大学院

理学研究科数理分子生命理学専攻，大学院先端物質科学研究科分子生命機能科学専攻，大学院医歯薬保健学研究科医歯薬学専攻，大学院生物圏科学研究科生物資源科学専攻及び大学院生物圏科学研究科生物機能開発学専攻の参画の下，京都大学 iPS 細胞研究所，徳島大学大学院社会産業理工学研究部，ハーバード大学 Department of Molecular and Cellular Biology 及びマツダ株式会社技術研究所と連携して，調書に記載の事項について確実に実施する。

以上（資料添付略）